

Veeva Vault Platform

強力なビジネスソリューションを 圧倒的なスピードで実現

グローバル化や俊敏なビジネス環境、ユーザーの高い期待によって、IT 部門に対する要求が高まっています。そこで IT チームが必要としているのは、ソリューション開発を迅速化しながら、メンテナンスやセキュリティ、新規リリースのバリデーションにかかる負担を軽くするプラットフォームです。

Veeva Vault Platform の導入により、IT チームはもとより、パワーユーザーでもシンプルなマウス操作だけで、プロトタイプや本番用のビジネスソリューションをすばやく構築することができます。Vault の各種ソリューションは、実績のあるクラウドベースの開発プラットフォーム上で容易に実装し、文書や関連データを管理しながら、組織横断的にタスクやプロセスを自動化することができます。ダッシュボードやレポートの作成も容易な為、プロセスやタスクの可視性も向上します。

規制の厳しい業界向けに設計された Vault Platform は、高度なコンテンツ管理、データやワークフローをサポートするユニークなマルチテナント型アプリケーションです。単一プラットフォーム上で複数のカスタムアプリケーションを構築できるため、現在利用されている複数のテクノロジーを単一のプラットフォームに置き換えることが可能となります。スプレッドシートやメール、ファイル共有サイト、従来のコンテンツ管理アプリケーションの代わりに、Vault Platform 上でソリューションを構築することにより、重要なコンテンツを迅速に管理し、ビジネスプロセスを合理化しながら、運用費用を抑えることもできます。

メリット

- **導入時間を短縮**：シンプルなマウス操作だけで、重要なコンテンツやデータを管理するための新しいソリューションをすばやく構築できます。
- **フレキシブルなソリューション**：非構造化情報であるコンテンツと構造化情報であるデータを共通プラットフォーム上で組み合わせ、多様なソリューションを実現。Veeva Vault のオープン API の利用により、他のビジネスアプリケーションともシームレスに統合することができます。
- **バリデーションを迅速化**：要求仕様文書、テストプロトコル、IQ/OQ、トレーサビリティ・マトリックス、バリデーション・サマリー・レポートをはじめとするバリデーション関連資料をリリースごとに提供。サンドボックス環境またはテスト環境、ユーザー受け入れテスト (UAT) スクリプトも用意されており、性能適格性評価 (PQ) も支援することができます。
- **クラウドベースのイノベーション**：年に 3 回アップグレードされるため、新機能をすぐに利用することができます。
- **高い普及率**：コンシューマー向け Web サイトのようなユーザーエクスペリエンスを実現しているため、使いやすく、トレーニング費用を抑えながら、迅速に展開することができます。
- **外部との連携が容易**：どこでも、どんなデバイスからも容易にアクセスできるため、セキュリティを確保しながら、社内外のユーザーと連携することができます。
- **情報を一元管理**：重要なコンテンツを一元管理し、CrossLink の機能によって各 Vault アプリケーション間で情報を共有。Vault のあらゆるタスクやワークフローを網羅した総合的なダッシュボードで、近い将来発生する項目や期限の過ぎた項目も管理することができます。

機能

クラウド対応

高度な可用性・拡張性・セキュリティを備えたソリューションを、規制に対応したクラウド上で実現。Vault Platform はオンラインで提供し、SOC 1 Type II および ISO 27001 の認証を受けたグローバルなデータセンターで運用しています。

ポイント&クリックで設定

プログラムを書かなくても、新しいソリューションをすばやく実装できます。ブラウザベースのポイント&クリックツールを取り入れて、直感的に操作できるユーザーインターフェース、ビジネスロジック、データモデルを実現しています。

コンシューマー向け Web サイトのようなユーザーインターフェース

エンドユーザーを意識して、馴染みのあるコンシューマー向けWebサイトのようにモダンなインターフェースを採用。HTML 5 Web クライアントで、高度な対話型デザインと優れた使い勝手を実現しています。

コンテンツ管理

バージョン管理、ライフサイクル管理、アノテーション（注釈）機能、レンディション管理、電子署名、透かし、ドキュメントの作成・共有といった豊富な機能を利用して、文書や動画、画像を管理。ルールベースの設定を活かし、地域等によって異なる複雑なビジネス要件にも対応します。

構造化データ管理

Vault Object Framework (VOF) の利用により、ビジネスプロセスの管理や情報の分類を行うためのカスタムオブジェクトを容易に生成することができます。フレキシブルなデータモデルは単純なポイント&クリックで迅速に設定できるため、製品や企業、顧客といった共通のビジネスエンティティを変更してソリューション開発をスピードアップすることもできます。

統合型のレポート&ダッシュボード

統合型のレポートやダッシュボードでデータからの知見をすばやく入手し、意思決定を支援することができます。また、カスタマイズ可能なレポートや図表、ダッシュボードを手軽に共有することにより、構造化データも非構造化データも集約・調査することができます。

フレキシブルな検索機能

VOF を活用してコンテンツを分類しておけば、検索がさらに容易になります。構造化データと非構造化データの双方から、状況に応じて最適な結果を導き出すことができます。

設定変更可能なワークフロー

設定を変えられるワークフローを利用して、ビジネスプロセスを自動化し、追跡管理することができます。作業項目の割り当て、ルーティング、メール通知、エスカレーション、トラッキングにも対応しています。

監査証跡

総合的な監査サポート機能でコンプライアンス要件に対応。開発者、管理者、エンドユーザーのあらゆるアクティビティを記録し、詳細な監査証跡を一元管理します。

動的セキュリティ

ユーザー認証に基づくフレキシブルな権限管理を通じて、規制の対象となるグローバル企業のセキュリティニーズに対応。マルチドメインをサポートし、各種機能やデータへのアクセスをきめ細かくコントロールします。

REST API

総合的な REST API の利用により、他のシステムと容易に統合し、データを移行して処理を自動化することができます。

リアルタイムでの共同編集作業

Veeva Vault と Microsoft Office Online のシームレスな統合によって、コンプライアンスを確保しながら、リアルタイムの共同編集作業を同時に行うことが可能です。